

2026年度 海外フィールドスクール 講義概要(シラバス)



法政大学

科目一覧

〔発行日：2026/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス（<https://syllabus.hosei.ac.jp/>）で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目

〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目

〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs

〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ

〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル

〈グ〉：グローバル・オープン科目

〈実〉：実務経験のある教員による授業科目

〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン

〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室

【A9840】 海外フィールドスクール〔松本 悟〕 オータムセッション/Autumn Session 1

CMF200LI (その他の複合領域 / Complex systems(Others) 200)

海外フィールドスクール

松本 悟

開講時期：オースタムセッション/Autumn Session | 単位数：2
単位

曜日・時限：集中・その他 | キャンパス：市ヶ谷

備考（履修条件等）：

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「海外フィールドスクール」の目的は、地球規模問題（グローバル・イシュー）の分析力、課題発見・課題解決能力及び異文化の中で表現する技能を養い、多文化間での調査、実習及び創作活動への取り組みを通して、サステナブルな社会を構築できる自律的・利他的な人材育成である。2026年度のテーマは「気候変動と鉱山開発」。低炭素社会には欠かせないと言われるニッケルという鉱物の社会的・経済的な側面を学ぶことを通じて、文系・理系の垣根を超えてサステナブルな社会のあり方を考える。

【到達目標】

この授業を履修することで、学生が以下に必要な知識やスキル等を習得する。

- (1) 特定の鉱物資源の需要が高まる背景を説明できる。
- (2) 鉱山開発がもたらす社会・経済的な影響を多角的に説明できる。
- (3) 自分の生活と海外で行われている鉱山開発との繋がりを低炭素社会の実現との関係で意識できる。
- (4) 文化が異なる東南アジアの農村部で英語を使ったインタビュー調査を実施できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

大学のディプロマポリシーのうち、「法政DP-IV, VI」に関連。

大学のディプロマポリシー詳細はこちら。

https://www.hosei.ac.jp/hosei/daigakugaiyo/rinen/hoshin/gakui_juyo/

【主な授業方法】

E 実験/実習/実技 /Experiment、L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

1. オンデマンドによる事前学習、及び一部対面による事前指導によって、背景知識とインドネシアでの現地調査の準備を行う。
2. 2026年8月に約2週間、インドネシアを訪問し現地調査を行う。
3. 帰国後、海外フィールドスクールで学んだ内容をもとに公開の成果発表会を開催する。
4. 事前学習期間中は対面で会う機会が多くないので、疑問や質問等への対応はメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
事前学習	授業内容の説明と役割分担（リアルタイムオンラインを予定）	毎週行う講義型の授業ではないので、授業の内容や狙い、注意事項等、現地調査の方法について丁寧に説明する。
事前学習	ニッケルについて（オンデマンドを予定）	鉱物としてのニッケルの特性、世界のニッケル産出状況、企業の考えなどについて学ぶ。
事前学習	訪問先の社会・経済状況について（オンデマンドを予定）	ニッケル鉱山の開発が近隣社会に及ぼす影響について学ぶ。
事前学習	簡易水質調査の実習	現地調査で実施する簡易の水質調査の実習を行う。

事前学習	現地調査内容の確認	インドネシアの現地調査に出発する前に、調査項目の修正など現地調査に向けた準備を対面で行う。
現地研修 1	オリエンテーション	現地の受け入れ団体による概要説明。
現地研修 2	金鉱山訪問	研修地が遠隔にあるため、途中の金鉱山を訪問。ニッケル鉱山と比較できる軸を持つ。
現地研修 3	鉱山近隣の村落訪問（先住民族）	現地の先住民族の村を訪れ、ニッケル鉱山開発の影響について聞き取り調査を行う。
現地研修 4	鉱山近隣の村落訪問（水質調査）	引き続き先住民族の村で、ニッケル鉱山開発の影響について聞き取り調査や水質検査を行う。
現地調査 5	鉱山近隣の村落訪問（農家）	ニッケル鉱山近くの別の村を訪れ、農家から話を聞く。
現地調査 6	鉱山近隣の村落訪問（農家、水質検査）	引き続き、ニッケル鉱山近くの農家から話を聞くとともに水質検査を実施する。
現地調査 7	鉱山近隣の村落訪問（計画地）	ニッケル鉱山が計画されている村を訪れ住民の話を聞く。
事後学習	現地調査結果のまとめ（リアルタイムオンラインを予定）	現地調査の結果をまとめ、発表準備を行う。
成果発表	成果発表会	法政大学の教室を使い、学生や一般向けに現地調査の結果等を発表する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

関連する文献や資料を読む、インタビュー調査の準備（質問票を英語で作成）、現地調査の聞き取り結果をその日のうちに整理する、成果発表会に向けて調査結果をまとめるなどの学習が必要。平均すると本授業の準備・復習時間は各2時間程度である。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

事前学習を通じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- (1) 事前学習をもとにした短いレポート 30%
- (2) 現地調査への貢献（英語での質問票の作成等現地調査の準備、村人等へのインタビュー等 50%
- (3) 成果発表会 20%

【学生の意見等からの気づき】

初めての担当なので特になし。

【学生が準備すべき機器他】

現地調査に必要なものは、事前学習期間に指示する。

【その他の重要事項】

- ・海外フィールドスクールの説明会などを別途行うので、関連する大学のホームページやメール、この授業のHoppiiの指示をこまめにチェックすること。質問があれば、担当教員に遠慮なくメールをして構わない。
- ・現地調査は英語ー現地語の通訳を通して行う。
- ・現地調査では、10時間以上の車での移動、日本の感覚では衛生的ではないと感じるような村での食事・トイレの使用・蚊帳を吊っての宿泊等がある。日本と同じような生活はできない。
- ・担当教員は、NHK記者、開発協力NGOの職員、環境NGOの代表などの20年以上の実務経験を持っている。東南アジアの農村部で長期間暮らした経験有する。
- ・協力団体との調整によっては、授業内容やスケジュールを若干変更することがある。

【Outline (in English)】

[Course outline]

This course aims to deepen understandings and thoughts relevant to the sustainable society through leaning about Nickel, an indispensable mineral for the low carbon society in Japan and in Indonesia.

[Learning objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings.

- 1) to explain the background of increasing demands for specific minerals in pursuit of the low carbon society
- 2) to explain the socio-economic impacts of mining from the plural perspectives
- 3) to be conscious of relations between your daily life and overseas mining development
- 4) to conduct qualitative interview using English in the country whose culture and social context are quite different from those of Japan

[Learning activities outside of classroom]

The following activities will be conducted outside the classroom; the field work in Indonesia for approximately two weeks in August 2026 and the public event for presentation of the course outcomes in September 2026. In addition, your study time for preparation and review will be four hours in average.

[Grading Criteria / Policies]

Your overall grade in the class will be decided on the following:

- Short reports after on-demand lectures 30%
- Contributions to the field work in Indonesia (preparation for field work, interview with villagers, summary of the interview for presentation and so on) 50%
- Presentation in the public after the overseas field work 20%

